

(社)日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第2回 ウラン・TRU取扱施設クリアランス検認分科会 (F13SC) 議事録

1. 日時 2007年6月21日(木) 13:30~17:50
2. 場所 T K P 浜松町第一会議室
3. 出席者 (順不同, 敬称略)
(出席委員) 井口 (主査), 安念 (副主査), 西堀 (幹事), 大越, 上原子, 川崎
川妻, 中田, 藤原, 前川, 松井, 室井, 山本 (13名)
(欠席委員) 川上, 杉浦, 山名 (3名)
(常時参加者) 森本, 佐野, 平井, 石橋, 福島, 美田, 前田, 岩崎, 荒井, 川俣, 大橋,
鈴木, 佐藤, 藤永, 山本 (15名)
(欠席常時参加者) 青木, 澁谷, 宮本, 泉, 石川 (5名)
(事務局) 厚
4. 配付資料
配付資料
F13SC2-1 第1回分科会議事録案
F13SC2-2 クリアランス対象物の判断フロー
F13SC2-3 ウラン・TRU 取扱施設のクリアランス判断方法
F13SC2-4 学会標準の範囲に関する整理表
F13SC2-5 東海・再処理施設のクリアランスのイメージ
F13SC2-6 ウランの放射能について - 測定と判断の観点から -
F13SC2-7(1) クリアランス判断方法に係るウラン・TRU の放射線測定法の概要
F13SC2-7(2) ウラン取扱施設のクリアランス対象物測定検認技術 - パッシブ γ 法 -
F13SC2-7(3) パッシブガンマ法による放射線測定法 - 熔融金属を対象とする Ge 半導
体測定 -
F13SC2-7(4) パッシブガンマ法
F13SC2-7(5) パッシブガンマ法によるウラン量測定装置
F13SC2-7(6) ZnS(Ag)シンチレーション式サーベイメータによる測定
F13SC2-7(7) 電離空気イオンに着目した計測法~Long Range Alpha Detection 応用技
術~
F13SC2-8 使用済遠心機の機微情報について
F13SC2-9 MOX 取扱施設における NDA 測定について (パッシブ中性子法)
F13SC2-10 今後の検討スケジュール案

参考資料

F13SC2-参考1 GIC 測定器の性能

5. 議事

(1) 出席委員の確認

事務局より、委員 16 名中、13 名の出席があり、決議に必要な委員数（11 名以上）を満足している旨の報告があった。

(2) 標準委員会の活動について

事務局より、次回原子燃料サイクル専門部会の日程等の報告があった。

(3) 人事について

事務局より、(独)原子力安全基盤機構の三浦 寛 氏が常時参加者登録希望されている旨紹介があり、承認された。

(4)

6. 今後の予定

次回分科会日時は、7 月 12 日（木）13:30～17:30 を予定。また、次々回は、8 月 10 日（金）の予定。

以 上